# 4年生 国語科指導案

平成29年6月27日(火)2校時 授業者 三根 紀子

1. 単元名 場面の様子に着目して読み、しょうかいしよう (「一つの花」光村 上 4年生)

# 2. 重点指導事項

C 読むこと(1)ウ

場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景について、叙述をもとに想像して読むこと。

#### 3. 言語活動

(2) エ 紹介したい本を取り上げて説明すること。

#### 4. 指導目標

○ 物語を読み、心に残ったことをもとに、進んで内容を友だちに紹介しようとする。

(関・意・熊)

- 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに 想像して読むことができる。 (読むこと)
- 様子を表す言葉について考え、言葉を置き換えると印象が変わることに気付いている。

(知識・理解・技能)

#### 5. 単元について

#### 〇 児童観

- ・読書を好きな児童と全く興味をもてない 児童との差が大きい。選書は、シリーズ ものが多く、様々なジャンルの本を読も うとするまでにはまだ至っていない。
- ・「白いぼうし」では、主人公の気持ちや 人柄を読み進めた。主人公の心情の変化 について、叙述を踏まえて考えたり特別 な言葉に着目して読みを深めたりする経 験は少ない。
- ・自分の考えを述べるための語彙が少ない ため、表現力が乏しく、感想も分かりづ らい。

#### 〇 教材観

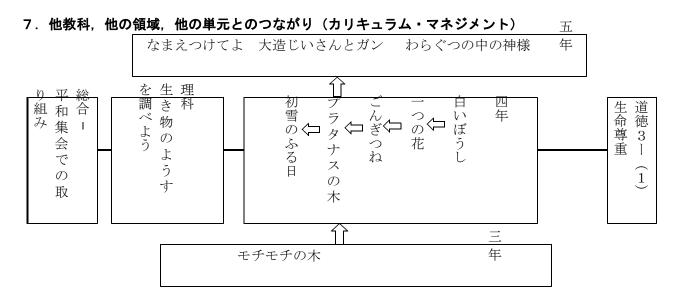
- ・本教材は、戦争の悲惨さやその時代背景、 「一つの花」に象徴される子を思う親の 心情を描いた作品である。平和に関する 本への意欲が高められる。
- ・「一つの花」では、題名の「一つの花」と それに関わって各場面にくり返し出てく るキーワード「一つだけ」に注目し、人 物の気持ち場面の状況を想像することを 大切にして読み深めることができる。
- ・本教材には、「対比的な表現」や「比喩表現」が使われており、言語活動で活用させることで表現の深まりが期待できる。

# 〇 指導観

- ・平和集会で平和に関する本の紹介をすることを目的として、お気に入りの一冊をポスターにして 全校児童に紹介する活動を設定する。そうすることで教材文を読むという必要感をもたせ、意欲 や興味を高める。
- ・「一つの花」の題名に注目させ、「一つだけ」や「一つの花」という何度も出てくる言葉に込められたゆみ子や両親のそれぞれの思いについて考えさせることで、登場人物の心情を深く読み取ることができるようにする。
- ・ポスターに表すときは、キャッチコピー、あらすじ、登場人物の紹介、おすすめしたい文章等、

# 6. 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技術
①進んで物語を読もうとし	①会話や心情表現, 行動に着目	①様子を表す言葉について考え, 言葉
ている。	し,人物の気持ちを考えて物	を置き換えると印象が変わることに
	語を読むことができる。	気付くことができる。
		②新出漢字を習得し,語句の意味が理
		解できる。



# 8. 指導計画(全8時間)

過	時	ねらい	主な学習活動	評価基準(【 】)と
程	間			指導上の留意点(・)
	1	・言語活動(心に	・「心に残ったことをもとに,	・平和集会で全校児童に平和に関する本
		残ったことをも	平和集会で本を紹介するポ	を紹介する活動を行うことを話し,意
第		とに,作品を紹	スターを作ろう」という学	欲をもたせる。
_		介する活動)と	習課題を設定し、学習計画	<ul><li>本を紹介するポスターなどを見て、気</li></ul>
次		出会い, 学びへ	を立てる。	付いたことを話し合わせる。
		の意欲と必要感	・題名「一つの花」から,内	【関・意・態】①
		をもつ。	容について想像する。	
			・教師の範読を聞き、初発の	<ul><li>平和に関する本を読み進めさせておく。</li></ul>
			感想をもつ。	
	2	・学習の見通しを	・単元の計画を立て、漢字や	・単元全体の学習の流れを説明して、掲
		もつ。	言葉の意味を学ぶ。	示する。
第		・新出漢字を習得	・漢字ドリルを用いて、新出	【言】②
_		する。	漢字を練習し, 身につける。	
次		・難しい言葉の意	・国語辞典を用いて,難しい	【言】②
		味を理解する。	言葉の意味を調べる。	
	3	・物語の設定を理	・戦時中, 10年後, という	・時を表す言葉に注目すれば場面分けが
		解し,場面の移	時間の流れに基づいて場面	できることを確認する。
		り変わりに注意	分けをする。	・戦時中と10年後を比べて読むことが
		しながら読むこ	・紹介したい本の大まかな場	できる物語であることを押さえる。
		とを意識付け	面分けをし,時代背景や時	【読】①

		る。	間の経過を調べる。	
	4	・様子を表す言葉	めあて(言語活動)の確認	・言葉を置き換えて考えることで、より
		の効果を理解す	課 戦時中のゆみ子の生活や	深く文章を読み取ることができること
		る。(第1場面)	様子はどんなものだろうか。 	を確認する。
			ま 物語の設定や時間の流れをと	・様子を表す言葉について取り上げ、登
			らえるとできる。	場人物の心情を読み取る。
			ぱ あらすじをおさえる	団 「様子を表す言葉は、どれですか。」
			□ 自分が選んだ本の場面設定	【言】①
				・紹介したい本でも様子を表す言葉に着
	5	・特別な言葉に込	めあての(言語活動)の確認	目して読ませる。 ・同じ言葉でも,込められた思いは立場
	0	められた心情を	課 どうしてゆみ子は「一つだけ」	によって異なるということのよさを確
		読み取るよさを	が口癖になってしまったのだろうか。	認する。
		理解する。	ま 戦時中で食料がなく、いつ	· · ·
		(第2場面前半)	もゆみ子はお腹をすかせていた。	い言葉を探し、読み深めさせる。
			団 文末表現	団 「文末の表現は、どんな書き方です
			□ 自分が選んだ本で様子を表	<b>か。</b> 」
			す言葉を見つける。	【読】①
	6	・叙述に基づいて	めあての (言語活動) の確認	・父の気持ちを考えさせ、その理由が書
		登場人物の心情	課 お父さんはどんな思いでゆみ子	いてある文章を示させる。
		を読み取る良さ	にコスモスをわたしたのだろうか。	・紹介したい本でも書いてあることをも
	本	を理解する。	ま お父さんは、ゆみ子にたくま し	
	n-l-	(第2場面後半)	く生き抜いてほしいという思い。	【読】①
	時		題名	中 どうしてお父さんは、ごみすて場のような所
			② 自分が選んだ本の題名と作品	に忘れられたように咲いていたコスモスを一輪
	7	担去の投り亦わ	とのつながり めあての(言語活動)の確認	渡したのだろう。
	1			
		りに任息しなから比べて読むこ	課 生活や様子はどのように変わった	など、戦時中と十年後で対になっている表現は何ですか。
				・変化を見付けるときには、視点を揃え
			ましく幸せにくらしている。	ることが大切であるということを理解
		する。	式 比較	させる。
		(第3場面)	□ 自分が選んだ本で変化があ	【読】①
		(2)14 - 336  227	ったところを見つける。	
第	8	・物語を読み、進	めあて(言語活動)の確認	・着目した言葉や、読んで考えたことを
三		んで内容を友だ	課 どんなポスターをかけばよいか。	分かりやすく書き表す。
次		ちに紹介しよう	ま ポイントをしぼってかく。	【関・意・態】①
		とする意欲を高	団 絵と短い文	
		める。	□ ポスターをかく。	

## 9. 本時の指導(6/8)

- (1) 本時の目標
- 「一つの花」に込めた父のゆみ子への思いを叙述をもとに考えて物語を読むことができる。

## (2)授業仮説

- 「ねりあげる」過程において、一人調べの結果を出し合わせた後、コスモスが咲いていた場所を 問うことによって、さらに深い視点で課題解決のための意見を出し合い、登場人物の心情を自分な りの理由をもってとらえさせることができるであろう。
- 「つなげる」過程において、ねりあげる過程でとらえた本時のポイントを自分が選んだ本の登場 人物の心情の読み取りとつなげ、生かすことができるであろう。

## (3)展開

過	程	学 習 活 動	教 師 の 支 援
2	課	1 めあて(学習問題)を確認する。	・言語活動の内容を確認する。
カュ	題	2 学習計画を参考に、本時の課題を自分	・本時の学習場面を提示する。
む	把	なりに考える。	・ノートや教室に掲示している学習計画
	握	3 自分なりの課題を発表し、みんなで全	を参考にさせる。
5		体の課題(本時の課題)を考える。	・ノートに書かせる。困っている子ども
分		4 課題をつかむ。	には個別指導を行う。
			・板書と同時にノートに書かせる。
		【課題】	
		お父さんはどんな思いでゆみ子にコ	コスモスをわたしたのだろうか。
L	自	5 課題解決の見通しを立てる。	・見通しを立てる時間を確保する。
5	力	(予想)	・1つ見通しを立てた児童には、別の見
~	解	・泣かないでほしい	通しを考えるよう声掛けをする。
る	決	・最後にプレゼントを渡したかった	・ノートに書かせる。
		(方法)	<ul><li>・全員が1つは見通しを書けたことを確</li></ul>
15		・文章を読む。	認する。
分		・どんな気持ちかを考える。	・自分なりの解決方法を決定させる。
		・根拠となるところを探して線を引く。	・困っている児童には個別指導する。
			・一斉読みをさせ、解決意欲を高める。
		6 見通しを発表し合う。	
		7 自分で決めた方法で一人調べをする。	
ね	検	8 調べた結果を発表し合い、相互に深め	・机間巡視により、指名計画を立てる。
ŋ	証	合う。	・黒板に貼った本文に記していく。
あ		○ねりあげの手順	・想像で気持ちを発表するのではなく、
げ		国自分が選んだ文を発表する。	文章のどの部分に基づいたのかを大切
る		②その文からわかる気持ちをまとめる。	にする。
		→同じ文でも感じ方が違うことに気づく。	・お父さんの最後の言葉には、ゆみ子に
15		「ゆみ。さあ,一つだけあげよう。・・」	深い愛情や願いが込められていること
分		・泣き止ませたい。	に気づかせる。
		・何かあげたかった。	
		<ul><li>・ゆみ子がかわいそうだったから</li></ul>	

団「どうしてお父さんは、ごみすて場の
ような所に忘れられたようにさいて
いたコスモスを一輪わたしたのでし
ょう。」)

3話し合う。

- 回お父さんの気持ちを, 叙述に基づいて発 表する。
- そんな所でも花はきれいに咲いていることを伝えたかった。
- ・暗いイメージだけどコスモスは、とても きれい。ゆみ子にコスモスの花のように 輝いてほしいと思っている。
- ・戦争に負けずに幸せに生きてほしい。
- 9 本時の課題を解決し、まとめる。

【まとめ】

- ・コスモスとゆみ子を重ねることでどん なに困難な状況でもたくましく生きて ほしい。幸せに暮らしてほしいという 願いをもっていることをおさえる。
- ・題名と同じ言葉「一つの花」であることに着目し、この物語を考えさせる重要な語句であることに気づかせる。
- ・題名には、特別な意味が込められてい ることをおさえる。

ポイント・・自分が選んだ本にも生かす

・3人が小さくばんざいした場所とコス モスが咲いていた場所の重なりをおさ える。<比較>

小さな幸せを大切にし、たくましく生きぬいてほしいという思い。

り 己 か 評

Š

え

る

評価

自

10 分 10 解決過程や結果のよさを味わう学習活動をする。

ポ題名について考える。

- □自分が紹介したい本の題名には, どんな 思いがこもっているのか考える。
- 11 自己の問題解決の過程をふり返る。
- ・本時の中で、どの意見や考え方が問題解 決に結びついたかをふり返る。

宿家庭で宿題に取り組む。

- ・授業の最初ではわからなかったことや 気付かなかったことが理解できた過程 をふり返ることで問題解決の良さを味 わわせる。
- ・叙述をもとに登場人物の気持ちを読み 取ることをおさえる。
- ・数名の活動の様子を紹介する。
- ・問題解決の過程について簡単にふり返 ることができるようにする。
- ・本時の学びを定着させる宿題を作成する。

- (3)評価
- 「一つの花」に込めた父のゆみ子への思いを叙述をもとに考えて物語を読むことができたか。
- (4) 板書計画

課題 お父さんはどんな思いで、 和集会で本を紹介しよう る面の様子に 題 ましく生きぬいてほしいという思 父さんは、 りあげ に残ったことをもとに、 あて 通 なげる題名には、 るのかのだろうか が調べ ( ) 見通し 考える、  $\dot{b}$ 本 文 着目して読み紹介しよう 線を引く、 小さな幸せを大切 どんな思いがこめ 出